

2011年度  
(平成23年度)

**重 点 政 策**  
**【実績まとめ】**

チャレンジふくやま 新たなる創造と飛躍

**福 山 市**

にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ばらのまち 福山～

## 各ページの見方

「新規」「継続」について  
重点政策として、「新規」か「継続」を記入しています。

分野

柱立て

課

施策（事業）名		□ 新規 ・ □ 継続
計画期間	年度（平成 年度）～ 年度（平成 年度）	決算額      千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

計画期間について  
重点政策の内容での施策や事業の期間を記入しています。

2 成果と年度別事業費

年度別事業費について  
( ) が付いている事業費は、当年度において重点政策に計上されていなかった事業についての事業費を記載しています。

(単位:千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費			

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

2011年度(平成23年度)重点政策一覧(目次)

(単位：千円)

分野	柱立て	施策(事業)名	決算額	再掲分	再掲分を含む事業費	ページ
1 教育	学校教育の充実	少人数指導推進支援事業	114,416		114,416	1
		特別支援教育体制推進事業	91,609		91,609	2
		教室環境改善事業	92,082		92,082	3
		地域学習活動支援事業	1,404		1,404	4
	文化財の保護と活用	鞆地区町並み保存	58,575		58,575	5
		史跡二子塚古墳保存事業	3,479		3,479	6
	国際交流の推進	北京市教育交流推進事業	2,294		2,294	7
	青少年活動の推進	子ども市政参画事業	2,382	2,772	5,154	8
小計		8件	366,241			
2 環境	地球環境の保全	温暖化対策事業(スクラムふくやま☆エコトライ)	107,410	338,968	446,378	9
		太陽光発電設備設置事業	164,040		164,040	11
		内港地区の環境改善等	646,110		646,110	12
		LED防犯灯整備事業	174,928		174,928	13
		河川等浄化対策事業	186,147		186,147	14
		生活バス交通利用促進対策事業(※再掲)	-	54,526	54,526	15
		歩道・自転車走行空間整備事業(※再掲)	-	270,699	270,699	16
	耕作放棄地の再生・活用	耕作放棄地再生活用モデル地区支援事業	10,483		10,483	17
小計		6件	1,289,118			
3 活力	鞆地区の再生・活性化	鞆地区町並み保存(※再掲)	-	58,575	58,575	18
		鞆地区道路港湾整備事業	-		-	19
		鞆地区まちづくりの推進	-		-	20
	中心市街地の整備	福山駅周辺整備事業	850,803		850,803	21
	都市ブランドの創出と発信	「福山らしさ」創出事業	24,246		24,246	22
	市民の自立と参画	ばらのまちづくり推進事業	11,532		11,532	23
		協働のまちづくり推進事業	2,565		2,565	25
	産業の振興	ものづくり等人材育成事業	3,903		3,903	26
	地域の活性化	広域連携事業	-	1,096	1,096	27
		大学連携事業	-		-	28
	少子化対策の推進	保育所等における子育て支援事業の充実	141,567		141,567	29
	保育所・幼稚園の再整備	保育所再整備	593,616		593,616	30
	公共交通サービスの充実	生活バス交通利用促進対策事業	54,526		54,526	31
	幹線道路網及び港湾の整備促進	広域交通体系の整備と物流機能の強化	686,655		686,655	32
	地産地消の推進	地産地消推進運動	9,196	10,483	19,679	33
	農業施策の推進	耕作放棄地再生活用モデル地区支援事業(※再掲)	-	10,483	10,483	35
里山の保全		38,524		38,524	36	
小計		15件	2,417,133			
4 福祉	高齢者福祉の充実	高齢者おでかけ支援事業	11,200		11,200	37
	子どもの発達支援の充実	こども発達支援センター整備事業	116,277		116,277	38
		特別支援教育体制推進事業(※再掲)	-	91,609	91,609	39
小計		2件	127,477			

(単位：千円)

分野	柱立て	施策(事業)名	決算額	再掲分	再掲分を含む事業費	ページ	
5 安心・安全	地域医療体制の充実	病院施設整備事業	421,980		421,980	40	
		福山夜間成人診療所整備事業	51,347		51,347	41	
	消防・救急体制の充実	消防・救急体制の整備	28,663		28,663	42	
	災害に強いまちづくり	水道施設の耐震化事業	347,559		347,559	43	
		下水道施設の耐震化事業	189,086		189,086	44	
		小・中学校の耐震補強等整備事業	1,297,651		1,297,651	45	
		災害時要援護者の避難支援対策	220		220	46	
		雨水施設整備事業	459,894		459,894	47	
		橋りょう長寿命化事業	12,927		12,927	48	
		安心・安全な給水の確保	水道未普及地域解消事業	78,226		78,226	49
	出原浄水場更新事業		594,821		594,821	50	
	市民の安全対策	歩道・自転車走行空間整備事業	270,699		270,699	51	
		交通施設バリアフリー設備整備費補助等事業	25,521		25,521	52	
		LED防犯灯整備事業(※再掲)	-	174,928	174,928	53	
	住宅の整備	深津市営住宅整備事業	635,188		635,188	54	
	人権の尊重	児童虐待防止事業	7,920		7,920	55	
	小計		15件	4,421,702			
	合計		46件	8,621,671			

施策（事業）名	<b>少人数指導推進支援事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006年度(平成18年度)～2011年度(平成23年度)	決算額 114,416千円

**1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと**

生涯にわたり学び続けるための基礎学力を培い、自ら学び、自ら考える姿勢が育つよう、指導形態を工夫し、個に応じた指導を推進しました。

○少人数指導推進員の配置

- ・少人数指導推進校の指定

小学校 30校 中学校 19校 計 49校

- ・少人数指導推進に関する研究

(研究内容) 基礎学力定着を図る効果的な少人数

指導方法の研究

①学級人数を半分程度に分けて指導

②支援を要する児童生徒を少人数で指導

③1学級を複数の教員で指導（チーム・ティーチング） など

(教科) 小学校：算数，国語

中学校：数学，英語，国語

○少人数指導推進校の運営

指導の充実に向けて、少人数指導推進員の研修、実践交流を行いました。



【少人数指導の様子】

**2 成果と年度別事業費**

○意欲的に学習に取り組む児童生徒が増えました。

○少人数指導による授業について、校内研修を実施するとともに、年度末にまとめを作成することにより、推進校における実践が深まりました。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	114,584	112,978	114,416

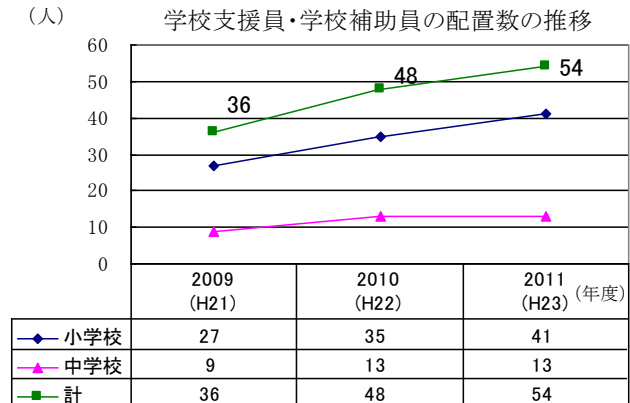
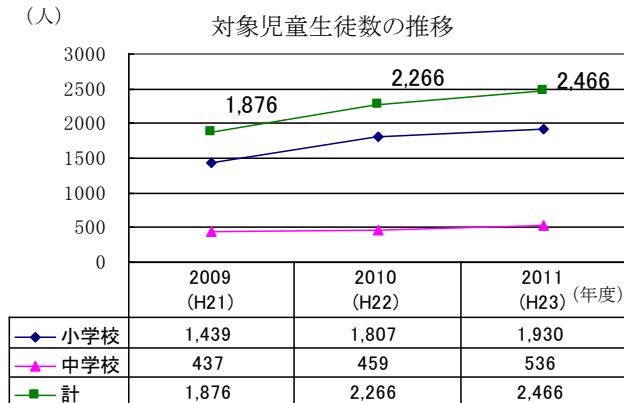
事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>特別支援教育体制推進事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006年度(平成18年度)～2011年度(平成23年度)	決算額 91,609千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○学校支援員などの配置

通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒が安心して学習や生活ができる学校づくりを支援するため、学校支援員・学習補助員を配置して個に応じたきめ細かな指導を行いました。



○巡回相談の実施

発達障がいなどの専門家による巡回相談を実施し、教職員の発達障がいに対する理解を深め、児童生徒に応じた指導を充実するとともに、全ての小・中学校において、個別の教育支援計画を作成しました。

	2009年度(平成21年度)	2010年度(平成22年度)	2011年度(平成23年度)
巡回相談事業実施延件数	114件	115件	102件
個別の教育支援計画作成率	68.8%	77.8%	100%

○サポーター事業の実施

大学生がサポーターとなって支援を行いました。

	2009年度(平成21年度)	2010年度(平成22年度)	2011年度(平成23年度)
学生サポーターの配置	小学校4校	小学校3校	小学校4校

2 成果と年度別事業費

○学校支援員が支援の必要な児童生徒に個別にかかわることで、児童生徒の心が安定し、落ち着いて学校生活を送られるようになりました。

○巡回相談を活用した校内研修の実施により、教職員の発達障がいに対する理解を深めることができました。

(単位：千円)

	2009年度(平成21年度)	2010年度(平成22年度)	2011年度(平成23年度)
事業費	64,867	84,320	91,609

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>教室環境改善事業</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2011 年度(平成 23 年度)	決算額 92,082 千円

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

暑熱対策として、天井型扇風機を小・中学校の普通教室、特別支援教室などの各教室に 2 台設置しました。

- ・ 小学校 78 校 1,017 教室 2,034 台
- ・ 中学校 35 校 388 教室 776 台



【授業風景】

2 成果と年度別事業費

○体感温度を下げる効果により、児童生徒の健康管理を推進するとともに、学習環境の改善に取り組みました。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	—	—	92,082

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>地域学習活動支援事業</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2011年度(平成23年度)～	決算額 1,404千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○土曜チャレンジ教室の開設

児童生徒に「『わかった』『できた』を実感させる」「計画を立てて勉強する力を付けさせる」ことを目的に、地域に在住している退職教職員や市立大学の学生などの支援を得て、土曜チャレンジ教室を開設しました。

- ・日時：第2・4土曜日 9:00～11:00
- ・対象：小学校5・6年生，中学校1年生
- ・内容：算数・数学，英語の基礎的な学習
- ・開設校区の状況

(単位：人)

校区	城南中	幸千中	松永中	新市中央中	大成館中	神辺西中	東中
場所	城南ふれあいプラザ	千田公民館	西部市民センター	新市公民館	神村公民館	神辺公民館	東ふれあいプラザ
児童生徒数	39	30	31	20	20	24	13
ボランティア	14	8	10	8	9	11	16



【土曜チャレンジ教室の様子】

2 成果と年度別事業費

○参加児童生徒のアンケート結果 (単位：%)

「分かった」と思うことが増えた	87.7
「できた」と思うことが増えた	95.9
学習の仕方が身に付いた	90.4
チャレンジ教室に参加してよかった	98.6

○退職教職員などの地域ボランティアによる教室の円滑な運営と児童生徒へのきめ細かな指導ができました。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	—	—	1,404

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>鞆地区町並み保存</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007 年度(平成 19 年度)～	決算額 58,575 千円

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

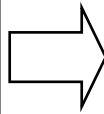
○町並み保存事業補助

町並み保存地区内の建造物などの修理・修景を支援し、歴史的景観の整備を進めました。

- ・補助件数 6 件（修理事業 4 件、応急処置 2 件）



【修理前…建物全体が老朽化】



【修理後…屋根瓦，壁など全体をきれいに修理】

○町並み保存の推進

鞆の伝統的建造物に詳しい大学教授などの専門家へ相談しながら、補完調査など国の重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け、取り組みました。

（補完調査の実施）

鞆地区の町並みの価値をより明らかにするため、2010 年度（平成 22 年度）から 2 か年で実施した社寺の建築調査などを取りまとめ、報告書の作成準備をしました。

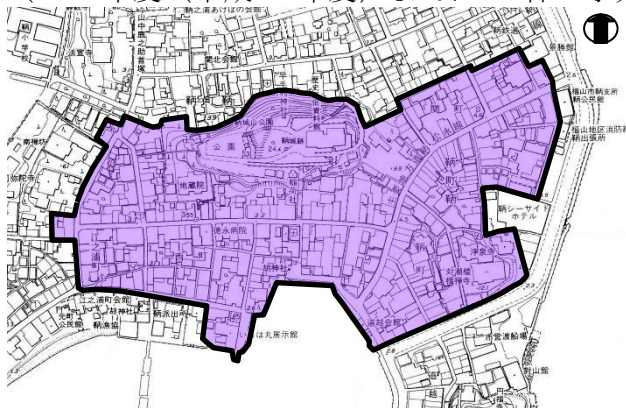
○町並み保存拠点施設の整備

町並み保存の拠点施設を整備するため、施設用地を取得し、建物の現状調査を行いました。

2 成果と年度別事業費

○市単独の補助事業により、貴重な文化財である鞆の町並みを守っています。

（2011 年度（平成 23 年度）までに 52 件の事業を実施）



【鞆町伝統的建造物群保存地区】



【鞆の町並み】

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	9,355	11,704	58,575

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>史跡二子塚古墳保存事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2008 年度(平成 20 年度)～	決算額 3, 4 7 9 千円

**1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと**

史跡として指定された範囲を適切に保存・管理していくため、史跡二子塚古墳保存管理計画策定委員会を開催し、保存管理計画を策定しました。

史跡二子塚古墳保存管理計画の概要

- ・西日本で最後に造られた前方後円墳である可能性があり、後の備後国成立を考えるうえで重要な古墳である。
- ・古墳の保存上必要な範囲について公有地化を進め、文化財保護法に基づき適切に管理を行う。
- ・現在の自然環境を残しながら整備を行い、周辺の遺跡との連携を見据えた活用を図る。



【学校教育との連携(人で古墳の形を表現)】



【二子塚古墳(西から)】



【二子塚古墳出土遺物】

**2 成果と年度別事業費**

○史跡二子塚古墳の保存・管理の基本的な考え方、今後の整備・活用の方向性をとりまとめました。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	199	(7,116)	3,479

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>北京市教育交流推進事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2008年度(平成20年度)～2012年度(平成24年度)	決算額 2,294千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

2011年（平成23年）12月24日～28日の日程で訪中し、北京市の海淀実験中学校と首都師範大学附属中学校の訪問や文化・歴史遺産を見学しました。

（訪問団：中高校生20人、教職員8人、事務局員など5人）

○All Englishによる交流



交流を通じて、英語の必要性を感じました。日本のマンガなども話題になりました。

○中国の文化と歴史を体験



故宮博物院や天壇公園の見学では、建物の装飾の美しさなどから、歴史の深さを感じました。

○踊りで福山を紹介



日本で練習していた「福之山音頭」を中国の生徒と一緒に踊りました。福山の文化を伝えることができました。

2 成果と年度別事業費

○生徒は、自分自身の生き方、考え方を見つめるとともに、国際的視野を広げることができました。教職員は、自己の教育観を見つめ直し、教育に対する考え、今後の方向性を考える機会となりました。

○教育交流派遣者は、自校の集会や学校だよりなどで体験したことを報告し、学んできたことを還元することができました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	2,449	2,136	2,294

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>子ども市政参画事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009 年度(平成 21 年度)～	決算額 5,154 千円 (再掲分 2,772 千円含む)

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

○子ども議会の開催

- ・次代を担う子どもたちが、福山市の政策や事業、地域課題について学び、10月に開催した本会議で、まちづくりに対する意見や提案を行いました。
- ・子ども議員46人が、親善友好都市の岡崎市生徒市議会を訪問し、意見交換などの交流を行いました。

○ふくやま子どもフェスティバルの充実

子どもが主体的に参画できるよう、小・中・高校生が子ども企画委員として企画運営するコーナーを設けました。

○子ども環境提言事業（※再掲）

内海小学校が環境学習推進校学習発表会において、ダンボールコンポストの設置による給食ゴミ減量の取組を発表し、市内小学校への普及啓発に取り組みました。

○子どもが市政に参画できる場の推進

市内の公立中学校2年生を対象とした職場体験「チャレンジ・ウィークふくやま2011」における体験の場を、公共施設や医療・福祉関係の事業所などに拡大し実施しました。  
 (対象) 36校 (参加者数) 3,799人



【ふくやま子どもフェスティバル】



【福山市環境学習推進校学習発表会】



【子ども議会(本会議場)】



【岡崎市生徒市議会との意見交換会】

2 成果と年度別事業費

- 子ども議会での、「字体を大きくした、誰もが分かりやすいハザードマップの作成」の提案を受け、土砂災害ハザードマップを作成しました。
- 子どもフェスティバルにおいて、多くの中高生や大学生たちがボランティアとして参加するなど、子ども参画の場の充実につながりました。  
 (ボランティア数) 118人 (参加校) 15校 (来場者数) 約 15,000人

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	599	547	5,154 (※再掲分2,772千円含む)

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注) 2009年度(平成21年度)、2010年度(平成22年度)は、「ふくやま子どもフェスティバル」の事業費の計



施策（事業）名	<b>温暖化対策事業 （スクラムふくやま☆エコライ）</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2011年度(平成23年度)～2020年度(平成32年度)	決算額 446,378千円 (再掲分 338,968千円含む)

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

福山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、「家庭・地域・学校」や「事業者」「行政」が一体となって、自分にできる地球温暖化防止活動に取り組みました。

○地球にやさしい生活様式の定着

- ・電気、ガス等の使用量削減などに努める世帯をふくやまエコファミリーに認定しました。
- ・地球温暖化対策等に積極的に取り組む保育所や学校などをふくやまエコスクールに認定しました。
- ・環境負荷の少ない運転技術（エコドライブ）講習を実施しました。
- ・内海小学校が環境学習推進校学習発表会において、ダンボールコンポストの設置による給食ゴミ減量の取組を発表し、市内小学校への普及啓発に取り組みました。



【エコドライブ普及事業】



【ダンボールコンポスト】

○環境負荷の少ない事業活動の促進

- ・環境マネジメントシステム（ISO14001，エコアクション 21）を取得する中小事業者などを支援しました。
- ・温室効果ガスの排出削減などに取り組む事業者をふくやまエコ企業として認定しました。

○エネルギーの効率的な利用の促進

- ・LED防犯灯整備事業（※再掲）

○再生可能エネルギー等の普及促進

- ・住宅などへの太陽エネルギーの導入促進に取り組みました。
- ・太陽光発電設備設置事業（※再掲）



【福山太陽光発電所（メガソーラー）】  
出典 中国電力（株）

○低炭素型社会のまちづくりの推進・吸収源対策の推進

- ・ノーマイカー運動（ベスト運動）を推進しました。
- ・自転車利用の促進として、職員によるエコ通勤や公用自転車の利用促進に取り組みました。
- ・家庭・事業所における緑のカーテン（ツル性の植物）による壁面緑化を促進しました。



【緑のカーテン啓発事業】

2 成果と年度別事業費

○1年間で14,561トンの二酸化炭素の排出量を削減しました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	77,718 (※再掲分57,098千円含む)	204,993 (※再掲分157,234千円含む)	446,378 (※再掲分338,968千円含む)

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



**家庭・地域・学校における取組**  
2,797 t削減

- ふくやまエコファミリー認定 2,214 世帯
- エコでえ〜ことキャンペーン  
レジ袋 約88.2万枚  
電力削減量 11.8万 kWh
- ふくやまエコスクール認定  
幼稚園1園, 保育所8所, 小学校2校
- 太陽エネルギー導入促進事業  
住宅用太陽光発電 1,491 基
- 緑化推進  
(緑のカーテン啓発事業) 216 世帯
- 環境学習推進校 17校
- 自転車利用の促進 など



【環境学習推進校】

# 協働

**CO<sub>2</sub>**  
**14.561トン**  
**削減**

主な取組例

- ・レジ袋1枚削減で 48g 削減
- ・木を1本植えたら 3kg 削減
- ・ベスト運動1回参加して 56kg 削減



【エコドライブ普及事業ロゴマーク】

**関連事業との連携** 8,528 t削減

- ベスト運動の推進 (会員数約 18,000 人)
- 公共交通の利用促進による交通渋滞の緩和



【ベスト運動】

**行政の取組** 1,159 t削減

- ISO14001 の推進
- 関係機関へ温暖化防止活動実施の啓発
- メガソーラー啓発事業
- 公共施設への太陽光発電設置 (\*再掲)
- LED 防犯灯整備事業 (\*再掲) 10,141 灯設置
- 自転車利用の促進(職員によるエコ通勤, 公用自転車の利用促進)
- 緑化推進  
苗木配布 年間 16,113 本
- 緑のカーテン啓発事業  
公共施設 163 施設
- レンタサイクル利用の促進

**事業者・団体への支援**  
2,077 t削減

- ISO14001・エコアクション21の認証取得費補助 7事業者
- ふくやまエコ企業認定 9事業所
- 太陽エネルギー導入促進事業  
大規模太陽光発電 3基
- エコドライブ普及事業
- 緑のカーテンエコ企業認定 10 事業所

スクラムふくやま★エコトライ

施策（事業）名	<b>太陽光発電設備設置事業</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2010年度(平成22年度)～2011年度(平成23年度)	決算額 164,040千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

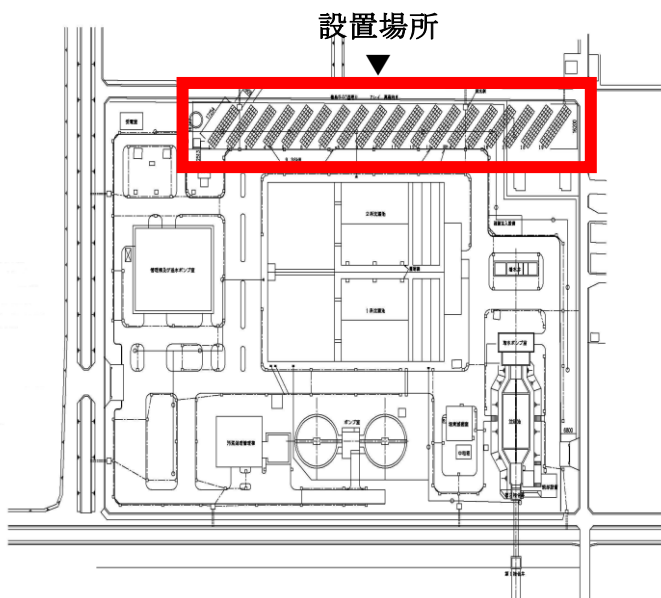
エネルギー消費量の多い事業者としての社会的責任を果たすため、環境にやさしい太陽光発電を箕島浄水場内に設置しました。

【施設の概要】

太陽電池容量：180kW

年間発電容量：200,000kWh

年間温室効果ガス削減量：126t-CO<sub>2</sub>



【箕島浄水場平面図】



【箕島浄水場太陽光発電設備】

2 成果と年度別事業費

- ・ 発電開始 2012年（平成24年）2月
- ・ 発電量 31,000kWh（2012年（平成24年）2月～3月）

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	—	(4,732)	164,040

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	内港地区の環境改善等	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2009 年度(平成 21 年度)～	決算額 646,110千円

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

○内港地区の環境改善

国・県と協力・連携し、石炭灰造粒物\*を用いた現地実証試験を行い、改善効果の検証を行っています。

※石炭灰造粒物…火力発電所から発生した石炭灰を粒状に固めたもの（粒径 5～40mm）。硫化水素やリンの吸着効果に優れている。



【実証試験の範囲】



【サンプリングの様子】

○中央雨水滞水池の整備

合流式下水道からの排水負荷量を削減し、未処理放流回数を半減するため、高速ろ過施設を併設した中央雨水滞水池\*の建設に着手しました。

※雨水滞水池…降雨初期の汚濁濃度の高い雨水を一時的に貯留する施設



【中央雨水滞水池完成予想図】

2 成果と年度別事業費

○内港地区の環境改善

試験区域内で、毎年発生していた青潮の発生が確認されなかったなど、内港地区の環境改善に向け一定の効果が確認されました。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	-	(11,200)	646,110

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>LED防犯灯整備事業</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2011年度(平成23年度)～2013年度(平成25年度)	決算額 174,928千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

地域の安心・安全や環境にやさしいまちづくりのため、市内全ての防犯灯を省エネで長寿命が特徴であるLED灯へ切り替えています。

- ・ 計画期間 2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度）
- ・ 2011年度（平成23年度） 約32,000灯中 10,141灯切り替え



【LED灯】

2 成果と年度別事業費

○LED灯への順次切り替えにより、発電の際に発生する温室効果ガス（二酸化炭素）を1年間で約82トン削減できました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	—	—	174,928

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	河川等浄化対策事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	1989 年度(平成元年度)～	決算額 186,147千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

小型浄化槽の普及促進や各家庭における生活排水浄化対策により、河川などの水環境の改善に取り組みました。

○浄化槽設置整備事業費補助

下水道未整備地域の浄化槽設置者へ設置費の一部を補助しました。

・5人槽（230基） ・7人槽（232基） ・10人槽（8基） ※転換（59基）

※単独浄化槽から合併浄化槽へ転換する場合

○生活排水啓発事業

芦田川きれいきれいプロジェクト『河川浄化チャレンジ月間』を、2011年（平成23年）11月1日～11月30日の1か月間芦田川流域全体で実施しました。

（瀬戸川流域, 高屋川流域, 芦田川本川流域などの1,078世帯からアンケートを回収）

①水切りネットなどを利用して、調理くずや食べ残しを流さない  
 ②銅や食器などの汚れは、紙でふき取ってから洗う  
 ③油を捨てるときは、直接流さず、紙にしみ込ませたり、固めたりして捨てる  
 ④洗剤の適量使用を心がける

【河川浄化チャレンジ月間で啓発している家庭でできる生活排水浄化対策】

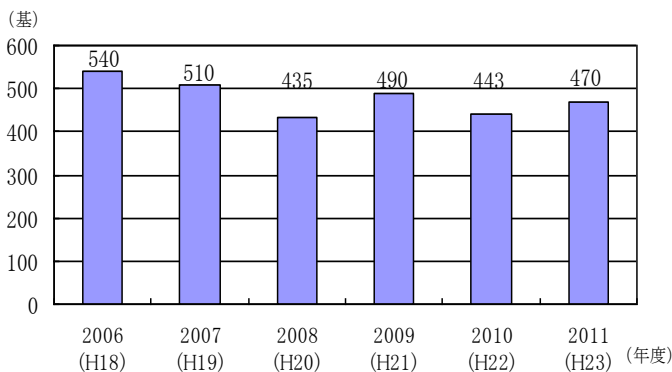
2 成果と年度別事業費

○芦田川流域に流入する汚れの減少が確認されました。

・1989年度（平成元年度）～2011年度（平成23年度） 補助基数8,441基（累計）

○アンケート結果によれば、『河川浄化チャレンジ月間』の取組を流域全体へ展開することを望むなど、住民の水質浄化に対する意識の向上につながっています。

浄化槽設置補助基数の推移



芦田川の水質状況(平均値)

(単位:mg/l)

地点名	中津原	山手橋	小水呑橋
環境基準値	2.0以下	2.0以下	3.0以下
1989年(平成元年)	1.8	4.1	3.8
2000年(平成12年)	1.7	3.7	5.3
2009年(平成21年)	1.6	2.9	5.5
2010年(平成22年)	1.1	1.8	4.1
2011年(平成23年)	1.0	1.7	3.1

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	198,189	175,375	186,147

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>生活バス交通利用促進対策事業（※再掲）</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006年度(平成18年度)～	決算額 54,526千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

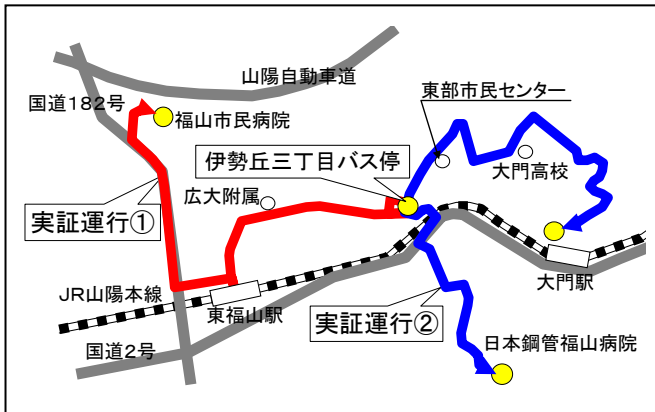
○東部地域フィーダーバス（支線バス）路線の実証運行

通院・通学時などに鉄道等へ円滑に乗り継げるバス路線の実証運行に取り組みました。

・実施時期：4月～9月

○バス接近表示システムの導入補助

バスの運行情報を利用者へ提供するシステムを導入するバス事業者へ支援を行いました。



【東部地域フィーダーバス(支線バス)路線の実証運行経路】



【接近表示システム表示盤(伊勢丘三丁目)】

○低床バスの導入補助

バスの乗降口に段差のないノンステップバスを導入したバス事業者に対して支援を行いました。

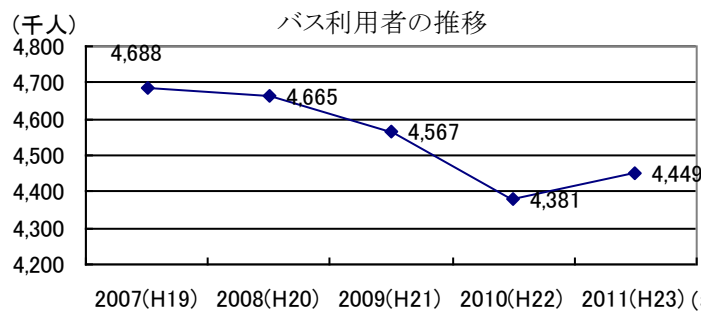
・ノンステップバス導入台数：中型6台

○中心部循環路線（まわローズ）の利用促進

バスまつりでの試乗体験や各種イベントでの展示，市内小学校への出前講座など，まわローズの車両を活用したバス利用促進事業を実施しました。

2 成果と年度別事業費

○バス利用者が増加しました。（対前年度 約 6.8 万人増）



(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	59,005	72,603	54,526

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>歩道・自転車走行空間整備事業（※再掲）</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2002 年度(平成 14 年度)～2020 年度(平成 32 年度)	決算額 270,699千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

子どもや高齢者、障がいのある人などに配慮した、だれもが使いやすい安心・安全で快適な歩道整備に取り組みました。また、近年、環境や健康の観点から利用ニーズが高まっている自転車が安心して通行できるよう、自転車走行空間の社会実験を実施しました。



整備前



整備後

【歩道整備(停車場裏古地線)】



【社会実験風景(福山駅箕島線)】



社会実験実施区間

【自転車走行空間整備事業】

○歩道整備事業

主な整備内容：歩道の拡幅や段差の解消を行いました。

- ・東福山地区（手城三吉線・手城蔵王線・停車場裏古地線）
- ・福山駅周辺地区（草戸松浜線・御船三吉1号線）

○自転車走行空間整備事業

- ・社会実験の実施

実施期間：2011年（平成23年）5月20日～6月2日

実施場所：福山駅箕島線（500m）

実施内容：青色カラーによる自転車走行レーン設置

交通実態調査（交通量，走行速度，交差点状況など）

アンケート調査（住民，利用者，バス・タクシードライバー）

2 成果と年度別事業費

○社会実験のアンケートの結果，約6割の利用者から安全性が向上したとの回答が得られるなど，自転車走行レーンの有効性が認められ，2012年度（平成24年度）の整備へとつながりました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	90,070 (※79,240)	225,756	270,699

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注)ただし，2009年度(平成21年度)決算額中の「90,070千円」には繰越分は含まれません。(※79,240千円)は前年度繰越分で，重点政策に計上していない年度のため，( )で表示しています。

施策（事業）名	<b>耕作放棄地再生活用モデル地区支援事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度)	決算額 10,483千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○耕作放棄地再生活用事業

農地としての利用を定着させるため、モデル地区を新たに5地区指定（合計18地区）し、耕作放棄地の再生・活用に取り組みました。



【耕作放棄地】



【作業の様子】



【再生した畑】

○耕作放棄地実態把握調査

農業委員による農地利用状況調査を実施しました。

2 成果と年度別事業費

○新たに5地区をモデル地区に指定し、395aの耕作放棄地を解消しました。

○国の耕作放棄地再生利用交付金事業と合わせて、3年間で1,449aの耕作放棄地の解消を行いました。

・2011年度（平成23年度）の実績

地区名	町名	解消面積	活用方法
下加茂地区	加茂町下加茂	35a	景観作物・そば栽培
寺迫地区	熊野町寺迫	39a	アスパラ・いちじく栽培
田島南地区	内海町	20a	トマト・なす栽培
東村地区	東村町	34a	学校農園
三谷地区	神辺町	257a	野菜栽培
高浦沖地区※	瀬戸町長和	10a	果樹・景観作物・水稻
<b>2011年度（平成23年度）合計</b>	<b>5地区</b>	<b>395a</b>	

※高浦沖地区：2009年度（平成21年度）指定。2011年度（平成23年度）に解消面積を10a追加。

○実態把握調査により114.9haの耕作放棄地を確認しました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	5,997	9,106	10,483

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	鞆地区町並み保存(※再掲)	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007年度(平成19年度)～	決算額 58,575千円

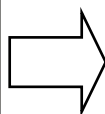
1 2011年度(平成23年度)に取り組んだこと

○町並み保存事業補助

町並み保存地区内の建造物などの修理・修景を支援し、歴史的景観の整備を進めました。  
 ・補助件数 6件(修理事業4件, 応急処置2件)



【修理前…建物全体が老朽化】



【修理後…屋根瓦, 壁など全体をきれいに修理】

○町並み保存の推進

鞆の伝統的建造物に詳しい大学教授などの専門家へ相談しながら、補完調査など国の重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け、取り組みました。

(補完調査の実施)

鞆地区の町並みの価値をより明らかにするため、2010年度(平成22年度)から2か年で実施した社寺の建築調査などを取りまとめ、報告書の作成準備をしました。

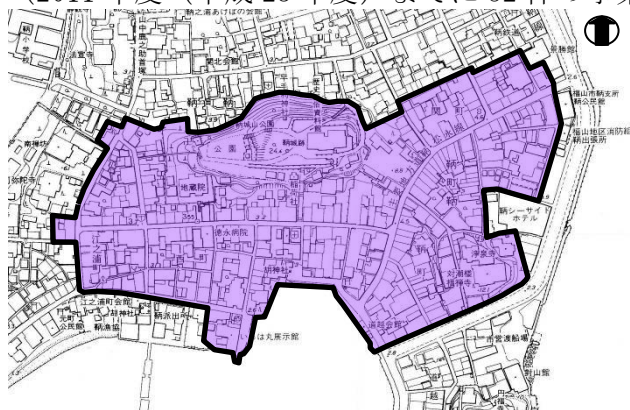
○町並み保存拠点施設の整備

町並み保存の拠点施設を整備するため、施設用地を取得し、建物の現状調査を行いました。

2 成果と年度別事業費

○市単独の補助事業により、貴重な文化財である鞆の町並みを守っています。

(2011年度(平成23年度)までに52件の事業を実施)



【鞆町伝統的建造物群保存地区】



【鞆の町並み】

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	9,355	11,704	58,575

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>靱地区道路港湾整備事業</b>	<input type="checkbox"/> 新規 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続
計画期間	2005年度(平成17年度)～	決算額 ー 千円

**1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと**

- 靱町が抱える諸問題の抜本的改善を図る靱地区道路港湾整備事業については、広島県開催の「靱地区地域振興住民協議会」の進捗を見守ってきましたが、この住民協議会が終了し、その結果を踏まえ、生活者の視点に立った靱町の整備のあり方について県と協議会を行い、引き続き、協議していくこととなりました。
- この事業に係る埋立免許差止の判決に対する控訴審については、補助参加人として審理開始のための振興協議を重ねましたが、住民協議会への影響を考慮し、審理開始はされませんでした。

**2 年度別事業費**

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	3,277	ー	ー

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>鞆地区まちづくりの推進</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007 年度(平成 19 年度)～	決算額 ー 千円

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

○広島県開催の「鞆地区地域振興住民協議会」は、2012 年(平成 24 年)1 月 29 日の 19 回目の協議会をもって終了しました。この間、本市は、鞆の生活環境の基幹である「生活道路の確保」、「防災対策」などがどのような形で方向づけられるか見守ってきました。

○住民協議会で集約された事項に基づく県の考え方を基に、県と協議を重ね、引き続き、協議を継続することとしました。



【鞆地区地域振興住民協議会】

19 回にわたり開催された県主催による「鞆地区地域振興住民協議会」も終え、県との行政間協議に入りました。



【鞆の町並み】

施策（事業）名	<b>福山駅前整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	1999年度(平成11年度)～	決算額 850,803千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

備後都市圏の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある交流拠点を形成するため、福山駅前広場整備事業や伏見町市街地再開発事業に取り組みました。

○福山駅前広場の整備

バス・タクシー乗降場やばらの植栽などの整備を行いました。



【福山駅前広場整備前(2007年(平成19年)撮影)】



【福山駅前広場整備後(2012年(平成24年)撮影)】

○伏見町地区市街地再開発事業

コンサルタントを派遣し、基本計画案の策定を支援しました。

2 成果と年度別事業費

○バス乗降場の集約など、備後地域の玄関口としての交通結節点機能の強化に取り組みました。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	1,847,355	3,188,826	850,803

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	「福山らしさ」創出事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007 年度(平成 19 年度)～	決算額 24,246 千円

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

地域資源を活かした事業を積極的に推進し、本市の魅力为全国へ発信しました。

○福山ミステリー文学新人賞事業

- (1) 『島田荘司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞』の選考  
第4回の募集・選考・受賞作の決定と、第5回の作品募集を行いました。
- (2) 映画「少女たちの羅針盤」宣伝広報活動等プロモーション支援  
テレビ・マスコミ等による広報を行うとともに、ロケ地マップの作成や各種イベントでPRを行いました。



【第4回受賞作】

○食のブランド化事業

- ・市制施行 95 周年記念式典において、食ブランド「福山うずみごはん」を発表しました。
- ・福山食ブランド創出市民会議において、食のブランド化講演会や開発したメニューの試食会などを実施しました。
- ・「福山グルメフェスタ」の開催（参加者数）約 2 万人
- ・「開運！うずみごはんマップ」の作成（発行部数）6 万部



【「福山の歴史」】

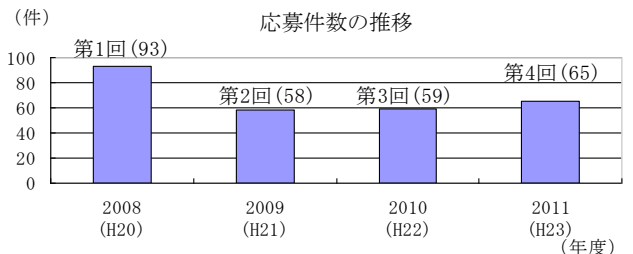
○福山の歴史・文化等啓発事業

- ・まんが「福山の歴史」の小学校 5・6 年生各学級・特別支援学級への配布
- ・まんが「福山を知ろぜ 阿部正弘」の原作制作

2 成果と年度別事業費

○福山ミステリー文学新人賞事業

- ・全国から 65 作品の応募がありました。安定した応募件数を維持しており、ミステリー文学界の発展につながっています。
- ・「少女たちの羅針盤」は、全国 47 映画館で上映されました。（延べ鑑賞者数） 20,354 人



○食のブランド化事業

- ・市民主体で新たな商品開発やイベントなどが行われ、市内外に「福山うずみごはん」が発信・PRされました。

○福山の歴史・文化等啓発事業

- ・まんが本の配布により、児童に郷土への愛着と誇りを持ってもらう機会をつくることができました。



【福山グルメフェスタ】

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	56,735	81,803	24,246

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注) 2009 年度（平成 21 年度）は「きらり福山発信事業」「福山らしさ」創出事業

「島田荘司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞」の事業費を計上



施策（事業）名	<b>ばらのまちづくり推進事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007年度(平成19年度)～	決算額 11,532千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○新たな名所、拠点となる場所の創出プロジェクト

・学校ばら花壇の整備

市内の各教育施設にばら花壇を整備しました。（実績）小学校18校 中学校11校

・ばらのシンボルロードの整備に係る懇談会の開催

中心市街地における賑わいなどにつながるシンボルロードの整備のあり方について検討しました。

・協働のばら花壇の整備

地域の住民団体などが、ばら花壇を整備する経費の一部を助成し、ばらを通じた地域づくりに取り組みました。（補助花壇数）13か所



【学校ばら花壇の整備】



【協働のばら花壇の整備】

○全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト

多くの市民にばら苗を配布しました。

- ・ばらの植栽に熱意のある市民・団体、新築購入者
- ・各種イベント、入学記念

（実績）約2万本

○ばらの植栽サポートプロジェクト

・第2期福山ばら大学

地域におけるばら栽培のリーダーを養成するため、ばらに関する知識や育て方の講座を開催しました。

（修了生）44人



【福山ばら大学】

○花だけじゃない!!ばらのアピールプロジェクト

・ばら制定都市会議（ばらサミット）の開催

市制施行 95 周年を記念して、第 20 回ばら制定都市会議を福山市で開催しました。

(参加都市数) 13 市町



【ばら制定都市会議】

・ばらのイメージキャラクター「ローラ」によるPR

全国のゆるキャラが集まる「きゃら在月 in しまね」に参加し、ローラとともに「ばらのまち福山」を全国にPRしました。



【きゃら在月 in しまね】

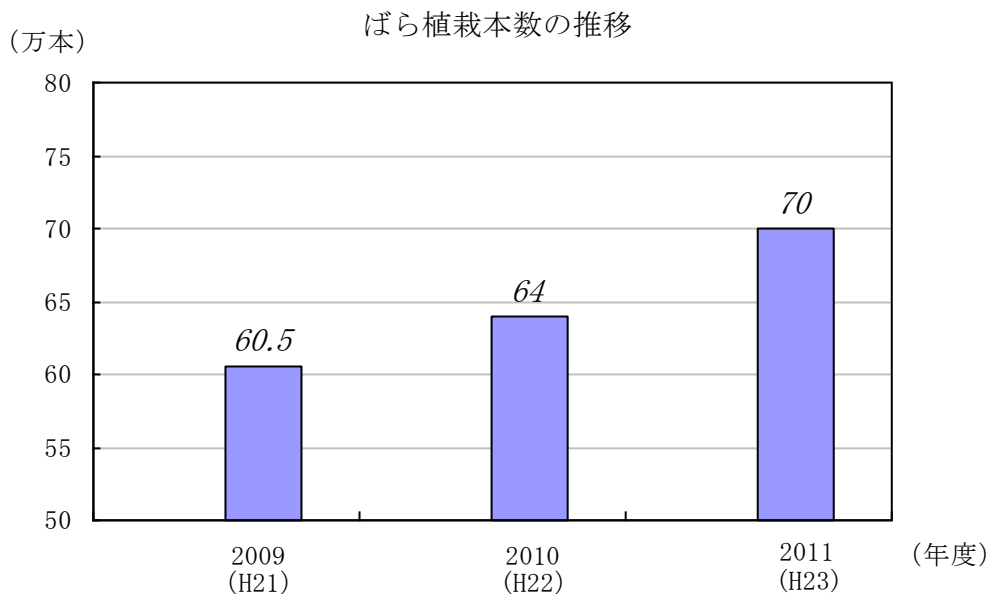
2 成果と年度別事業費

○市内のばらの本数：約 70 万本

○ばらの花壇数

- ・地域：約 400 か所
- ・学校：49 校

※2011 年度（平成 23 年度）末現在



(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	6,130 (※再掲分1,871千円含む)	6,727	11,532

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	協働のまちづくり推進事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2005年度(平成17年度)～	決算額 2,565千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○市民活動を担うリーダーの発掘・育成

市民活動等の企画・運営・管理などができる人材育成を目的に取り組みました。

・協働のまちづくりフォーラム

日時 2011年（平成23年）9月24日（土）

参加者数 83人

・リーダー養成講座

「まちづくりシネマ ～ひとと、まちと、つながって、いきる、～」

日時 2012年（平成24年）2月18日（土）・19日（日）

参加者数 350人



【リーダー養成講座（まちづくりシネマ）】

○地域ポイント制度（まちづくりパスポート事業）の実施

地域活動やボランティア活動等への参加を通じ、地域や市政への理解や関心を高めるため、ポイント数を記録するパスポートを配布しました。ポイントは、図書カードや映画無料鑑賞などの特典と交換しました。

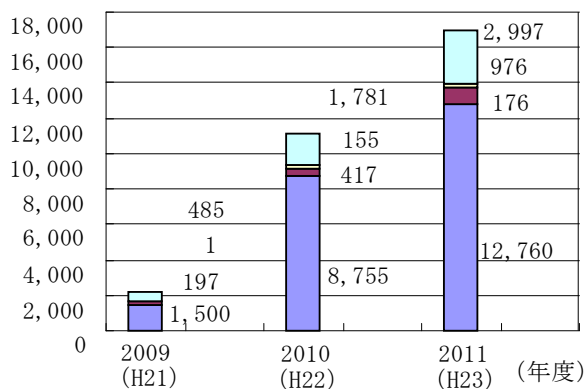


【地域ポイント制度（全市一斉清掃活動）】

2 成果と年度別事業費

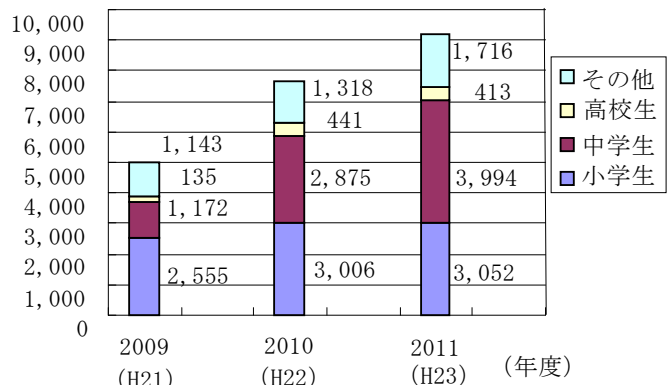
○地域ポイント制度（まちづくりパスポート事業）を通じて、若い世代の地域活動・ボランティア活動への参加が拡大しています。

(人) 学習・体験参加者数の推移



合計(人)	2,183	11,108	16,909
-------	-------	--------	--------

(人) ボランティア活動参加者数の推移



合計(人)	5,005	7,640	9,175
-------	-------	-------	-------

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	191,555 (※再掲分1,262千円含む)	1,209	2,565

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計  
注) 2010年度(平成22年度)は人材育成の事業費のみを計上



施策（事業）名	<b>ものづくり等人材育成事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～	決算額 3,903千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○経営力強化人材育成事業（研修参加人数 541人）

ものづくり技術等の継承や大学などと連携した人材育成に取り組みました。

○ものづくり啓発事業（参加人数 297人）

中小企業者や大学などが児童生徒にもものづくりの楽しさを伝えました。

○産学官連携人材育成事業

大学や産業支援機関など組織の垣根を越えた人材育成ネットワークを構築し、企業が求める人材育成ニーズに対応した各種事業に取り組みました。

- ・産学官合同のネットワーク会議の実施や交流会の開催
- ・企業側のニーズに応じた研修会（セミナー）や講演会などの開催
- ・各種関係機関や中小企業者へのヒアリングの実施



【ものづくり技術継承事業】



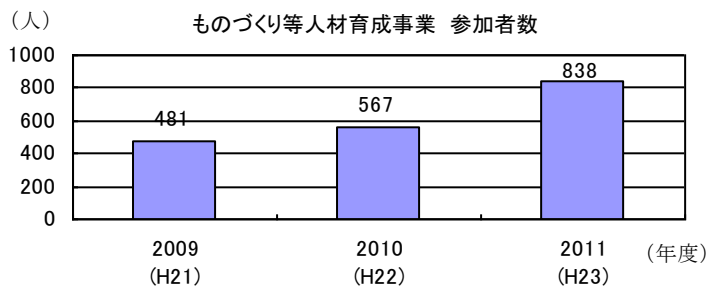
【ものづくり啓発事業】  
（地場産業の織物を使ったエコバック・ストラップ作り）



【産学官連携人材育成事業】  
（社員研修会）

2 成果と年度別事業費

○参加者が増加しています。



（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	3,907	3,719	3,903

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注) 2011年度（平成23年度）は、「産学官連携人材育成事業」に係る事業費を含む

施策（事業）名	<b>広域連携事業</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2011年度(平成23年度)～	決算額 1,096千円 (再掲分 1,096千円含む)

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○近隣市町との広域連携

人口減少社会の中で、住民が安心して住み続けられるよう、各市町が連携し活力と魅力あふれる圏域づくりに取り組むことを目的とし、県境を越えた6市2町(広島県三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町、岡山県笠岡市、井原市)と備後圏域連携協議会を設立しました。

- ・2011年(平成23年)
- 11月25日 副市長・副町長会議
- 12月21日 市長・町長会議(備後圏域連携協議会設立)



【備後圏域連携協議会】

○産学官連携人材育成事業(※再掲)

大学や産業支援機関など組織の垣根を越えた人材育成ネットワークを構築し、企業が求める人材育成ニーズに対応した各種事業に取り組みました。



【びんご産学官人材育成等ネットワーク講演会】



【技術シーズなどパネル展】

2 成果と年度別事業費

- 備後圏域連携協議会において6つの取組テーマ(医療・観光・情報システム・防災・国の情勢や市町の施策など)についての情報共有・施設の広域的な利用)を決定しました。
- こども発達支援センターの6市2町による共同運営について確認しました。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	—	—	1,096 (※再掲分1,096千円含む)

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>大学連携事業</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2011 年度(平成 23 年度)～	決算額 ー 千円

**1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと**

市と市立大学とが相互に連携することにより、共に高めあい、発展しながら、持続可能で未来志向のまちづくりを進めるため、2011 年（平成 23 年）7 月に福山市・福山市立大学連携協議会を立ち上げました。



【福山市・福山市立大学連携協議会】

**2 成果と年度別事業費**

○2012 年度（平成 24 年度）から市と市立大学が共同で調査・研究を行う、6 つのテーマを設定しました。

（連携テーマ）

- ① 福山駅周辺の中心市街地における活性化
- ② 災害に強い都市づくり
- ③ 協働のまちづくり
- ④ 福山市の保幼小連携に関する研究
- ⑤ 福山市における子どもの生活実態調査
- ⑥ 発達障がい児の事例検討を通じた研修

○福山市・福山市立大学連携協議会の開催回数：2011 年度（平成 23 年度） 3 回

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	ー	ー	ー

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>保育所等における子育て支援事業の充実</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006 年度(平成 18 年度)～	決算額 141,567千円

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

○保育所を地域の子育て支援の拠点として位置付け、「子育て支援センター事業」の事業内容の充実と施設数の拡大に取り組みました。



【プレイルームでの世代を超えた交流】



【ミニミニ講座／絵本読み聞かせ】



【子育て講座／夢みるパパとママの会】



【子育て講座／ベビーヨガ】

○子育て支援センター事業従事者が、資質向上のための研修に参加する機会を充実しました。

2 成果と年度別事業費

○子育て中の親同士や子どもたちの交流の場を提供することにより、育児不安の軽減につながっています。

○実施施設を拡大しました。

（新規実施施設 私立保育所 2 か所 今津保育所・輛こども園（法人移管に伴うもの）

（実施施設数・利用状況）

	2009 年度 (平成 21 年度)	2010 年度 (平成 22 年度)	2011 年度 (平成 23 年度)
施設数	23 (公立 10, 私立 13)	24 (公立 10, 私立 14)	26 (公立 10, 私立 16)
利用者数	105,126 人	140,452 人	131,340 人
相談件数	12,565 件	15,388 件	16,826 件

（単位：千円）

	2009 年度 (平成 21 年度)	2010 年度 (平成 22 年度)	2011 年度 (平成 23 年度)
事業費	125,073	129,418	141,567

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>保育所再整備</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006年度(平成18年度)～2015年度(平成27年度)	決算額 593,616千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○公立保育所の改築

- ・児童の保育環境の改善に向け、川口保育所の改築に取り組んでいます。  
[2012年度（平成24年度）完成予定]

○公立保育所の法人移管

- ・今津保育所を移管し、改築しました。



【今津保育所】

○私立保育所の改築

- ・てまり保育園と、ひまわり保育園を改築しました。



【てまり保育園】



【ひまわり保育園】

2 成果と年度別事業費

- 公立保育所の法人移管により、入所定員の拡大や低年齢児の受け入れ、子育て支援センターの設置などを行い、多様な保育サービスの提供が可能となりました。
- 老朽化した私立保育所の改築により、入所定員の拡大や保育環境の改善を行いました。

（整備が完了した施設）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
公立保育所整備	2施設	1施設	1施設（整備中）
移管保育所整備	1施設	2施設	1施設
私立保育所整備	2施設	2施設	2施設

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	952,920	676,026	593,616

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>生活バス交通利用促進対策事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006年度(平成18年度)～	決算額 54,526千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

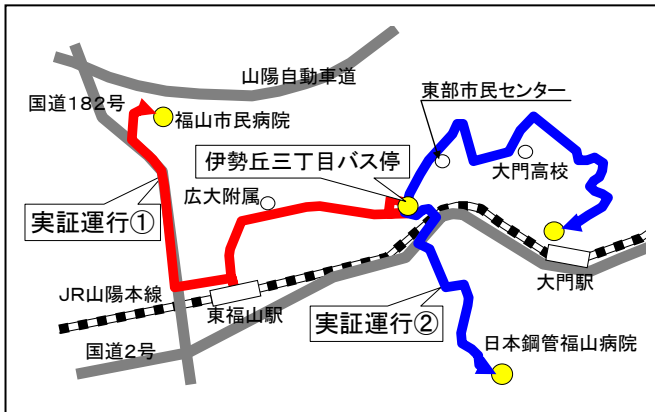
○東部地域フィーダーバス（支線バス）路線の実証運行

通院・通学時などに鉄道等へ円滑に乗り継げるバス路線の実証運行に取り組みました。

・実施時期：4月～9月

○バス接近表示システムの導入補助

バスの運行情報を利用者へ提供するシステムを導入するバス事業者へ支援を行いました。



【東部地域フィーダーバス(支線バス)路線の実証運行経路】



【接近表示システム表示盤(伊勢丘三丁目)】

○低床バスの導入補助

バスの乗降口に段差のないノンステップバスを導入したバス事業者に対して支援を行いました。

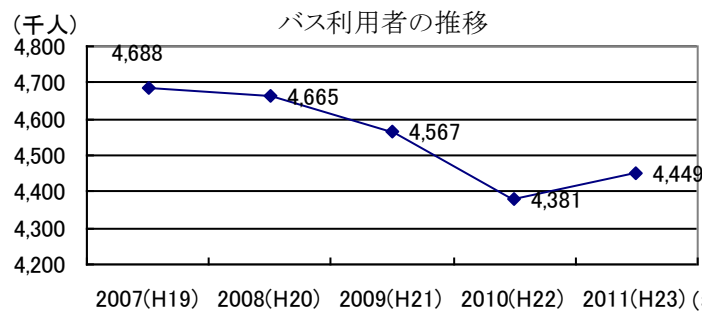
・ノンステップバス導入台数：中型6台

○中心部循環路線（まわローズ）の利用促進

バスまつりでの試乗体験や各種イベントでの展示，市内小学校への出前講座など，まわローズの車両を活用したバス利用促進事業を実施しました。

2 成果と年度別事業費

○バス利用者が増加しました。（対前年度 約 6.8 万人増）



(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	59,005	72,603	54,526

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>広域交通体系の整備と物流機能の強化</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	1998年度(平成10年度)～2012年度(平成24年度)	決算額 686,655千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

福山都市圏における交通渋滞を解消・緩和し、社会経済活動や都市間交通の活性化に向け、街路整備事業を行いました。

○都市計画道路事業 津之郷奈良津線（山手橋架替）

下部工事（橋脚工事等）、上部工事（桁架設等）、床版工事の一部に取り組みました。



【橋脚工事完成】



【下部工事完成】



【桁架設工事中】



【床版工事施工中】

2 年度別事業費

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	257,412	536,215	686,655

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



分野：活力 柱立て：地産地消の推進

経済環境局農林水産部地産地消推進課 農林水産課 保健福祉局保健部健康推進課 児童部保育課  
教育委員会学校教育部学校保健課 農業委員会事務局

施策（事業）名	地産地消推進運動	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度)	決算額 19,679千円 (再掲分 10,483千円含む)

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○「ふくやま地産地消の日」の実施

- ・毎月29日を「ふくやま地産地消の日」とし、リーフレットを作成・配布し、広く市民に周知しました。
- ・「うずみ食材カレンダー」を作成し、「福山うずみごはん」や市内農産物の普及啓発に取り組みました。



【「ふくやま地産地消の日」におけるPR】



【うずみ食材カレンダー】

○学校・保育所給食への市内産農産物の使用拡大と地産地消の啓発

- ・7月1日の市制施行記念日に、学校・保育所給食「地場産物100%給食の日」を実施しました。
- ・農業者から学校給食への市内産農産物の直接納入を拡大するとともに、新たに保育所給食においても、直接納入の取組を開始しました。
- ・学校給食レシピ集、保育所食事レシピ集を作成し、児童・園児に配布しました。



【地場産物100%給食】

○市内産農林水産物生産拡大事業

ふくやまSUNの市内市場出荷量の増加を図るため、市場出荷用資材費に助成するとともに、新規就農者・栽培者の育成などを支援しました。

○耕作放棄地再生活用モデル事業費補助（※再掲）

「耕作放棄地再生活用モデル地区支援事業」に掲載



【産直市】

2 成果と年度別事業費

- 「ふくやま地産地消の日」の設定など、全市的に地産地消の取組を推進しました。
- 学校給食への市内産農産物の直接納入が拡大しました。
  - ・学校給食における地場産物使用割合 21.6%（対前年度 0.9%増）

（単位：千円）

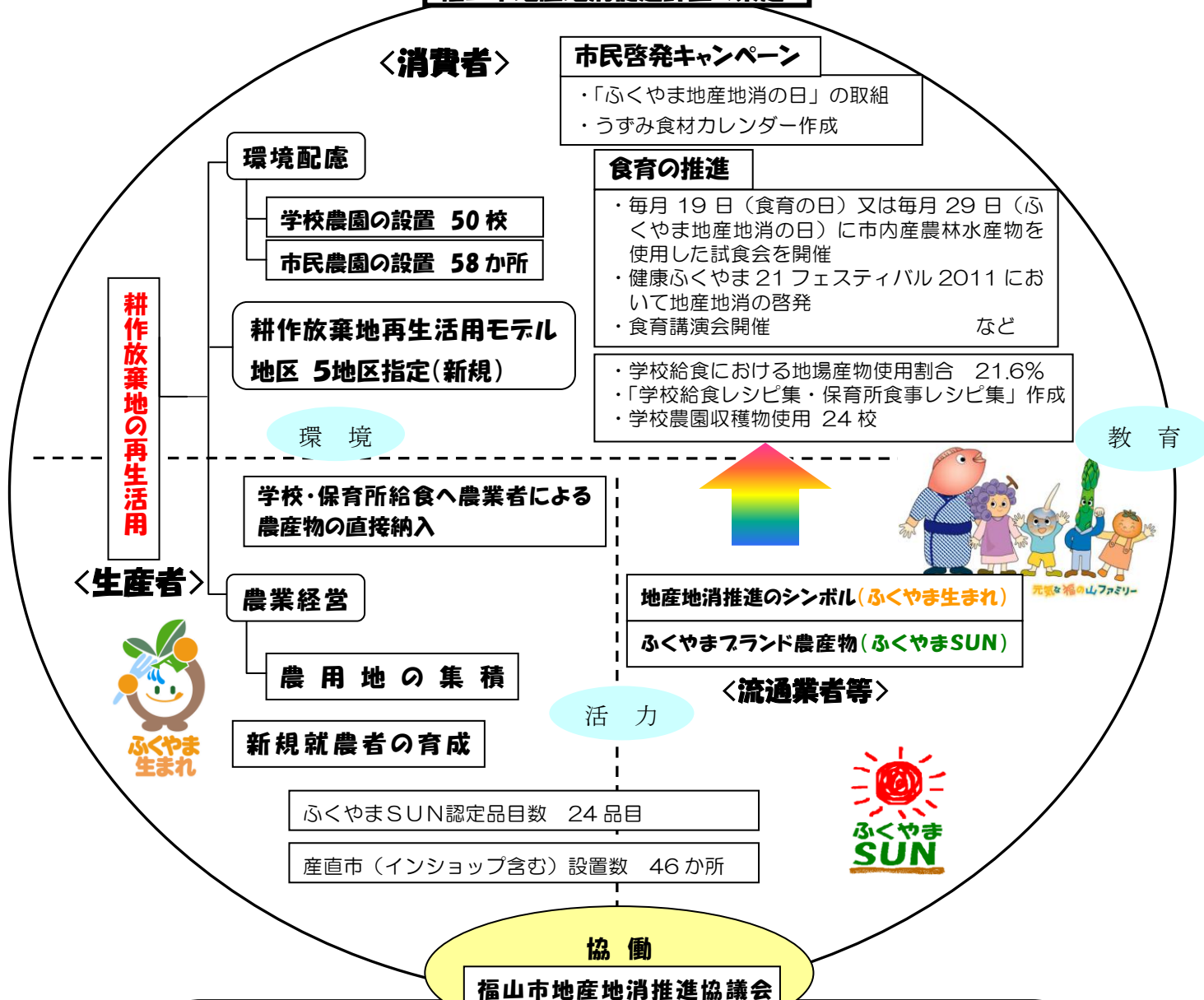
	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	8,612 (※再掲分5,997千円含む)	18,655 (※再掲分9,497千円含む)	19,679 (※再掲分10,483千円含む)

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

# 「福山発！地産地消」推進運動の展開

(地SUN地SHOW)

## 福山市地産地消促進計画の策定



- 行政支援**
- 耕作放棄地対策事業
  - 農業生産基盤の条件整備
  - 農業担い手の育成確保
    - ・中核的農業者の育成
    - ・集落法人の組織化
    - ・多様な担い手の育成
    - ・農地のあわせん制度
  - ふくやまSUNの生産と消費の拡大
  - ふくやま生まれの生産と消費の拡大
  - 産直市生産拡大の支援
  - 学校・保育所給食への市内産農林水産物使用拡大
  - 学校給食地産地消推進ネットワーク
  - 地産地消推進運動の啓発活動展開
  - 「ふくやま地産地消の日」の取組

※ふくやま生まれ：市内産農林水産物及びその加工食品の「シンボルマークと愛称」を公募により制定  
 ※ふくやまSUN：ふくやまブランド農産物の愛称として定着

施策（事業）名	<b>耕作放棄地再生活用モデル地区支援事業 （※再掲）</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度)	決算額 10,483千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○耕作放棄地再生活用事業

農地としての利用を定着させるため、モデル地区を新たに5地区指定（合計18地区）し、耕作放棄地の再生・活用に取り組みました。



【耕作放棄地】



【作業の様子】



【再生した畑】

○耕作放棄地実態把握調査

農業委員による農地利用状況調査を実施しました。

2 成果と年度別事業費

○新たに5地区をモデル地区に指定し、395aの耕作放棄地を解消しました。

○国の耕作放棄地再生利用交付金事業と合わせて、3年間で1,449aの耕作放棄地の解消を行いました。

・2011年度（平成23年度）の実績

地区名	町名	解消面積	活用方法
下加茂地区	加茂町下加茂	35a	景観作物・そば栽培
寺迫地区	熊野町寺迫	39a	アスパラ・いちじく栽培
田島南地区	内海町	20a	トマト・なす栽培
東村地区	東村町	34a	学校農園
三谷地区	神辺町	257a	野菜栽培
高浦沖地区※	瀬戸町長和	10a	果樹・景観作物・水稻
<b>2011年度（平成23年度）合計</b>	<b>5地区</b>	<b>395a</b>	

※高浦沖地区：2009年度（平成21年度）指定。2011年度（平成23年度）に解消面積を10a追加。

○実態把握調査により114.9haの耕作放棄地を確認しました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	5,997	9,106	10,483

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>里山の保全</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2011年度(平成23年度)～	決算額 38,524千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○里山林の整備

荒廃した里山林の下刈りなどを行いました。

- ・里山林の整備面積：16.3ha  
（内海町：0.9ha，熊野町：2.4ha，千田町・西深津町：13.0ha）



【里山林下刈り】

○有害鳥獣の捕獲・防除

- ・地元猟友会員で構成される有害鳥獣捕獲班などによる捕獲の実施  
捕獲数 イノシシ：1,222頭 サル：10頭 ヌートリア：93頭 カラス：854羽など
- ・市民を対象とした被害防止対策に関する講演会などの実施（参加者数181人）
- ・侵入防止柵やイノシシ捕獲用箱わなを設置する団体などに対し、資材の支給又は経費の一部を補助しました。
- ・地域ぐるみで有害鳥獣被害対策に取り組む団体に対し、経費の一部を補助しました。（10団体が耕作放棄地の草刈，山際の草木の伐採，わな猟免許取得などを実施）



【有害鳥獣対策講演会】



【箱わな】



【侵入防止柵】

○鳥獣被害の調査

専任調査員を2人配置し，被害状況の調査や調査結果のデータ化を行いました。

2 成果と年度別事業費

- 有害鳥獣が近づきにくい環境整備や捕獲・侵入防止対策などを総合的に進めました。
- データ化により，迅速かつ効果的な被害対策が進みました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	(14,607)	(17,935)	38,524

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>高齢者おでかけ支援事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～	決算額 11,200千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

- 高齢者の社会参加を促進するため、地域からの提案を受けてモデル学区を選定し、地域住民との協働により、買物、通院など外出支援を行いました。
  - ・実施学区 8学区（常金丸・常石・山野・走島・内浦・服部・熊野・山南学区）
- 2011年度（平成23年度）から新たに山南学区で事業を実施しました。



【山南学区おでかけ支援会】

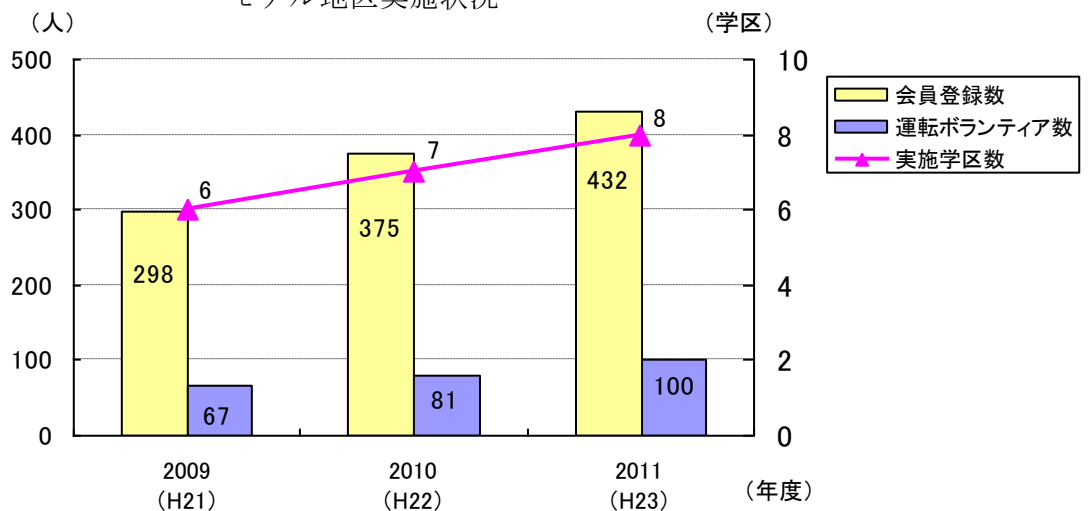


【内浦学区おでかけ支援の会】

2 成果と年度別事業費

- 地域での支え合い・助け合いの意識が高まり、地域のつながりが深まっています。
- 利用者から喜ばれており、運転ボランティアの生きがいがづくりにもつながっています。

モデル地区実施状況



(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	7,682	9,948	11,200

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>こども発達支援センター整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～	決算額 116,277千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○こども発達支援センターの開設に向けた準備

発達障がいに関する総合的な専門機関として、保健・福祉・医療機能が集積する福山市保健センター内に整備することとし、2012年度（平成24年度）中の開設に向け、改修工事に取り組みました。



【発達支援室】



【言語療法室】



【プレイルーム】

2 成果と年度別事業費

○備後圏域の県境を越えた6市2町（尾道市，三原市，府中市，神石高原町，世羅町，笠岡市，井原市，福山市）の支援拠点施設として事業展開（共同運営）を行うこととしました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	5,245	272	116,277

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注) 当初の施策（事業）名は「(仮称)療育センターの整備」

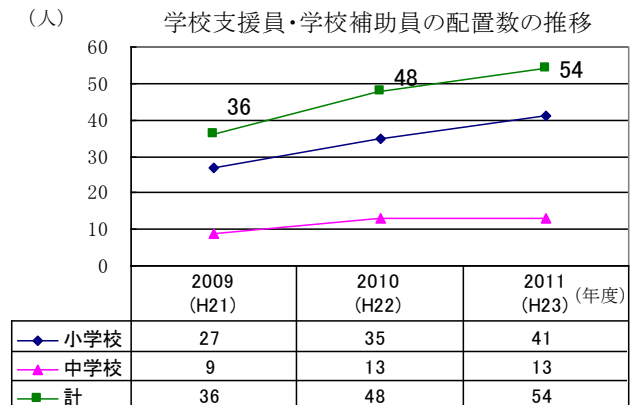
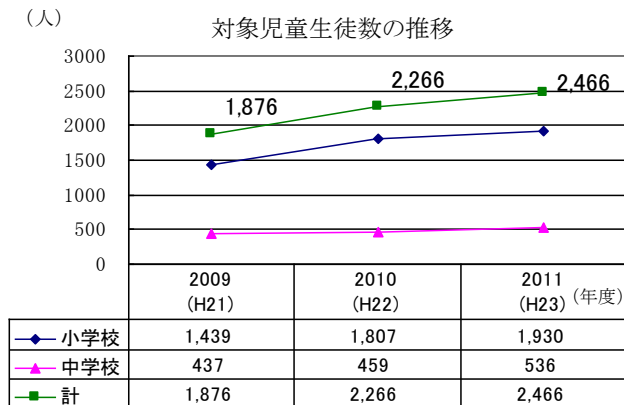
年度当初の施策（事業）名は「(仮称)こども発達支援センター整備事業」

施策（事業）名	<b>特別支援教育体制推進事業(※再掲)</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006年度(平成18年度)～2011年度(平成23年度)	決算額 91,609千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○学校支援員などの配置

通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒が安心して学習や生活ができる学校づくりを支援するため、学校支援員・学習補助員を配置して個に応じたきめ細かな指導を行いました。



○巡回相談の実施

発達障がいなどの専門家による巡回相談を実施し、教職員の発達障がいに対する理解を深め、児童生徒に応じた指導を充実するとともに、全ての小・中学校において、個別の教育支援計画を作成しました。

	2009年度(平成21年度)	2010年度(平成22年度)	2011年度(平成23年度)
巡回相談事業実施延件数	114件	115件	102件
個別の教育支援計画作成率	68.8%	77.8%	100%

○サポーター事業の実施

大学生がサポーターとなって支援を行いました。

	2009年度(平成21年度)	2010年度(平成22年度)	2011年度(平成23年度)
学生サポーターの配置	小学校4校	小学校3校	小学校4校

2 成果と年度別事業費

○学校支援員が支援の必要な児童生徒に個別にかかわることで、児童生徒の心が安定し、落ち着いて学校生活を送られるようになりました。

○巡回相談を活用した校内研修の実施により、教職員の発達障がいに対する理解を深めることができました。

(単位：千円)

	2009年度(平成21年度)	2010年度(平成22年度)	2011年度(平成23年度)
事業費	64,867	84,320	91,609

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>病院施設整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2008年度(平成20年度)～2013年度(平成25年度)	決算額 421,980千円

1 2011年度(平成23年度)に取り組んだこと

○病院増築事業

市民病院の機能充実に向け、病棟の増築工事を実施しました。

- ・ 増築工事 2011年(平成23年)7月～2013年(平成25年)2月
- ・ 増築工事の概要

- ・ 外来診察室の増設, 化学療法室, 内視鏡室の移転拡充
- ・ 手術室の増設, 院内ICU・HCUの設置
- ・ 病棟の増築



【増築棟完成予想図】



【地盤アンカー工事(地下部分)】



【高層棟鉄骨建て方(1～2階部分)】

2 成果と年度別事業費

○救急医療・がん医療を柱に地域で完結する医療提供体制の構築に向け機能の充実に取り組みました。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	21,312	330,536	421,980

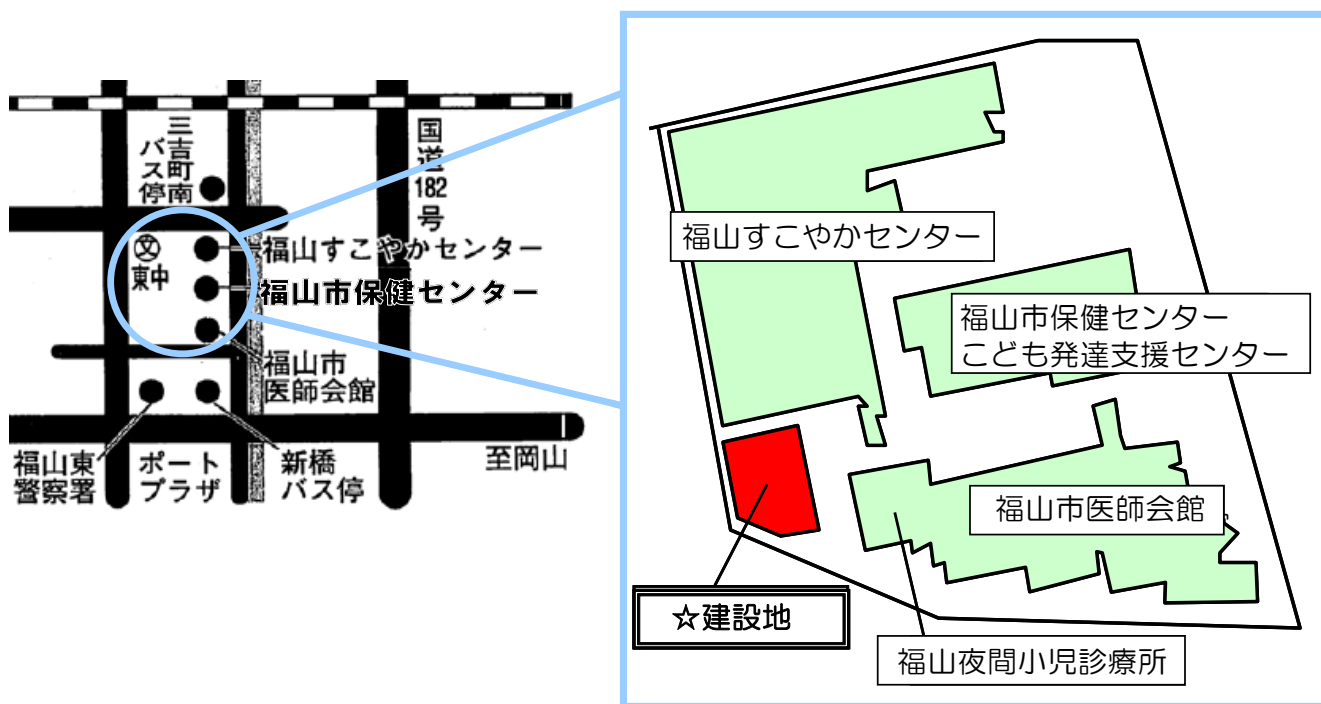
事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>福山夜間成人診療所整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2010年度(平成22年度)～2013年度(平成25年度)	決算額 51,347千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

市や医師会など関係機関で構成する「(仮称)福山・府中地域救急支援診療所整備事業に係る連絡調整会議」において、福山夜間小児診療所の西隣への整備が決定したことを受け、用地の買収と建物の実施設計を行いました。



2 年度別事業費

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	—	—	51,347

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注) 当初の施策（事業）名は「(仮称) 救急支援診療所整備事業」

施策（事業）名	<b>消防・救急体制の整備</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2005年度(平成17年度)～	決算額 28,663千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

○北消防署改築事業

2013年度（平成25年度）の完成に向け、建設設計などを実施しました。

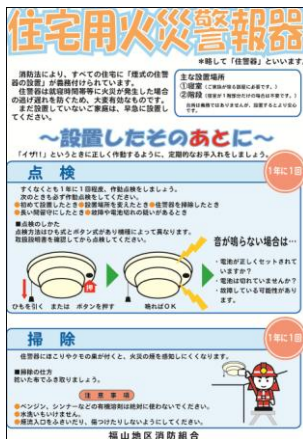
- ・事業期間 2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度）
- ・建物概要 鉄筋コンクリート造 4階建
- ・延べ面積 1,801.66㎡



【北消防署完成予想図】

○住宅用火災警報器設置推進事業

啓発用パンフレットを作成し、市内の各世帯に配布するとともに、各種イベント・行事等で設置促進と設置後の維持管理について啓発を行いました。



【啓発用パンフレット】



【啓発活動】

2 成果と年度別事業費

- 中心市街地を管轄する防災拠点として北消防署庁舎の改築に着手しました。
- 住宅用火災警報器設置の促進と機器の維持管理を広く住民に啓発しました。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	241,019	472,613	28,663

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>水道施設の耐震化事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007年度(平成19年度)～	決算額 347,559千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

地震などの災害にも強い安定した水道の給水体制を確立するため、水道施設の耐震化や耐震補強を計画的に進めました。

○木之庄配水池耐震補強工事

主要配水池<sup>\*</sup>である木之庄配水池（有効容量 13,190 m<sup>3</sup>のうち 9,190 m<sup>3</sup>）の配水池耐震補強工事や場内配管工事を行いました。

※配水池…浄水場から送り出された水を各家庭に配水する前に、一時的に貯めておく施設のこと



【木之庄配水池】

2 年度別事業費

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	176,821	232,038	347,559

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

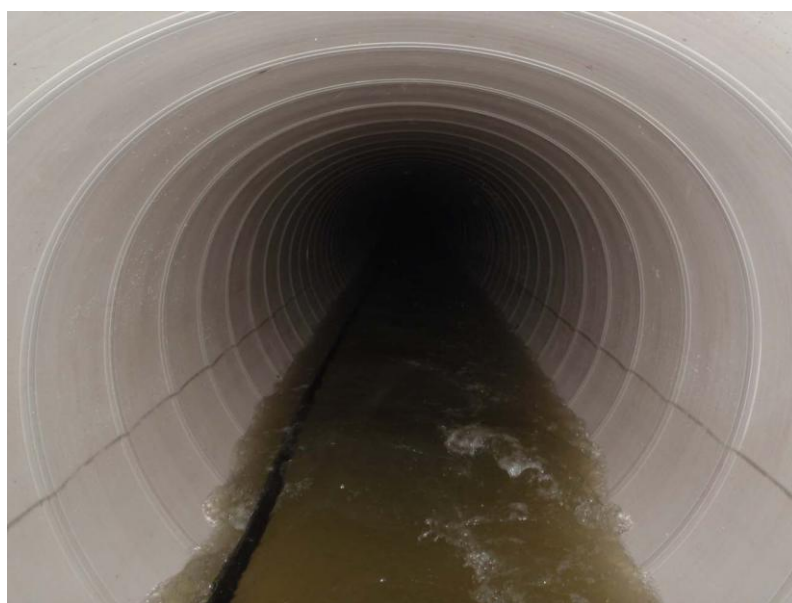
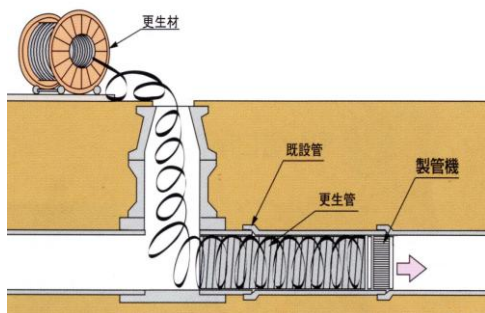
施策（事業）名	<b>下水道施設の耐震化事業</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度)	決算額 189,086千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

地震による市民生活や社会経済活動に与える影響を最小限に抑えるため、下水道地震対策緊急整備計画に基づき、広域避難場所から流域下水道幹線までの下水道施設の耐震化を進めました。

○下水道管渠耐震化工事（緑町公園から流域下水道幹線まで）

工事延長 L=734m 内径 φ1,200mm



【下水道管渠耐震化工事イメージ】

【下水道管渠耐震化工事完成】

(既設管渠の中に、地震に強い管を新たに造る)

2 成果と年度別事業費

下水道地震対策緊急整備計画

- ・全体計画延長 L=5,165m (2012年度(平成24年度))

2011年度(平成23年度)進捗率 52.8%

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	(169,960)	(245,357)	189,086

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	小・中学校の耐震補強等整備事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006年度(平成18年度)～	決算額 1,297,651千円

1 2011年度(平成23年度)に取り組んだこと

災害時に児童生徒の生命を守るとともに、地域住民の緊急避難場所としての役割が果たせるよう、耐震補強などを計画的に行いました。

○屋内運動場整備事業

耐震化を進めるため、改修工事、耐震改修設計を実施しました。

- ・ 小学校 改修5校(津之郷小, 駅家小, 服部小, 新市小, 神辺小)  
設計2校(宜山小, 常石小)
- ・ 中学校 改修3校(城南中, 培遠中, 城西中)  
設計1校(城東中)

○校舎改修事業

耐震化を進めるため、改修工事、耐震診断(二次)、校舎耐震補強設計を実施しました。

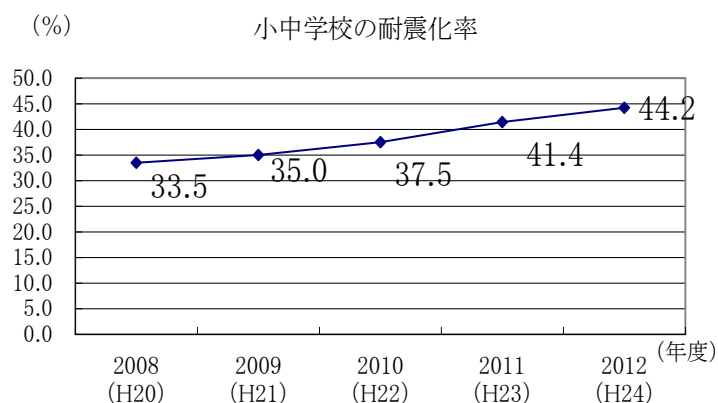
- ・ 小学校 改修1棟(福相小(校舎棟))  
耐震診断(二次),  
校舎耐震補強設計 41校
- ・ 中学校 改修1棟(向丘中(南棟))  
耐震診断(二次),  
校舎耐震補強設計 8校



【向丘中学校南棟耐震補強工事】

2 成果と年度別事業費

○小・中学校の屋内運動場や校舎の耐震化率が向上しました。



(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	867,330	1,313,265	1,297,651

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>災害時要援護者の避難支援対策</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009 年度(平成 21 年度)～	決算額 220 千円

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

○災害時要援護者の避難支援対策

地域における災害時要援護者の避難支援体制の確立に向けた活動を推進しました。

- ・災害時要援護者の把握  
民生委員の協力を得て、災害時要援護者名簿を 8 学区で作成しました。
- ・災害時要援護者避難支援プランの作成

災害時要援護者の個別避難支援プランの作成が推進されるよう、支援活動の体制が整った地域から要援護者についての情報提供を行いました。

○出前講座での啓発

避難支援に対する意識を高めるため、出前講座「地域における災害時要援護者の避難支援」を開催しました。(13学区・3団体 合計770人)



【出前講座の様子】



【地域での防災訓練】

2 成果と年度別事業費

○新たに 8 学区が避難支援対策の取組を開始し、35 学区が活動を推進しています。

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	2,754	1,006	220

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>雨水施設整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	1997年度(平成9年度)～	決算額 459,894千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

大雨による浸水被害から市民の生命・財産を守るため、雨水ポンプ場や雨水幹線などの整備に取り組みました。

○大津野ポンプ場築造工事

事業期間：2011年度(平成23年度)～  
2014年度(平成26年度)

概要：土木工事  
上屋新築工事  
ポンプ設備工事  
ポンプ口径 1,650mm 1台



【大津野ポンプ場完成予想図】

○雨水幹線築造工事

- ・新涯1号雨水幹線築造工事（6工区） L = 224.5m
- ・機織1号雨水幹線築造工事（16工区） L = 76.5m ほか



【新涯1号雨水幹線築造工事】

2 成果と年度別事業費

○2011年度（平成23年度）雨水対策整備率※ 52.0%

※雨水対策整備率…市街地内で雨水対策が必要な面積に対する整備済面積の割合

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	538,865	(438,976)	459,894

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	橋りょう長寿命化事業	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～	決算額 12,927千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

- 長寿命化修繕計画（580橋）で早期対応が必要と判断された橋りょうについて、修繕に取り組みました。
- 点検未完了の約1,120橋について橋りょう点検を行い、全ての橋りょう（約3,100橋）の点検を完了しました。



【修繕前】



【修繕後】

橋りょう詳細調査・設計 5橋（本谷橋，清水橋，福山駅箕島線1号橋，宮之谷南橋，城北橋）  
 橋りょう修繕 2橋（宮之谷南橋，城北橋）

2 年度別事業費

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	—	(16,204)	12,927

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>水道未普及地域解消事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～2011年度(平成23年度)	決算額 78,226千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

神辺町三谷地区への水道未普及地域解消事業（3か年事業）の最終年にあたり、初年度から引き続いて水道管布設を行うとともに、昨年度築造した加圧ポンプ所や配水池に電気設備・機械設備を設置し、全ての事業を完了しました。

※事業計画：計画給水量 29 m<sup>3</sup>/日，計画給水人口 129 人（43 戸）

○水道管の布設工事

配水管（2,901.6m）を布設しました。

- ・配水管布設工事（PEP※ 口径 75 mm L=336.2m，口径 50 mm L=874.3m，PP※ 口径 40 mm L=593.8m，口径 25 mm L=1,097.3m）

※PEP：水道配水用ポリエチレン管 PP：ポリエチレン1種二層管

○設備工事

- ・電気設備……ポンプ制御盤設置一式 ほか
- ・機械設備……送水ポンプ設置一式 ほか



【水道管の布設工事】



【送水ポンプの設置】

2 成果と年度別事業費

○2012年（平成24年）4月から給水開始

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	67,950	66,908	78,226

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>出原浄水場更新事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2010年度(平成22年度)～2015年度(平成27年度)	決算額 594,821千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

出原浄水場の施設更新事業（6か年事業）の2年目にあたり、昨年度着手した急速ろ過池の築造が完了しました。また、管理棟の築造及び電気設備・機械設備の設置に着手しました。

○急速ろ過池の築造

- ・急速ろ過池築造工事（ろ過面積：30.4㎡×10池）

○管理棟の築造

- ・管理棟築造工事（鉄筋コンクリート造 2階建 636.0㎡）

○設備工事

- ・電気設備……電気設備設置一式
- ・機械設備……給排水衛生設備設置一式 ほか



【急速ろ過池築造工事】



【管理棟築造工事】

2 年度別事業費

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	—	107,634	594,821

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>歩道・自転車走行空間整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2002 年度(平成 14 年度)～2020 年度(平成 32 年度)	決算額 270,699 千円

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

子どもや高齢者，障がいのある人などに配慮した，だれもが使いやすい安心・安全で快適な歩道整備に取り組みました。また，近年，環境や健康の観点から利用ニーズが高まっている自転車が安心して通行できるよう，自転車走行空間の社会実験を実施しました。



整備前



整備後

【歩道整備(停車場裏古地線)】



【社会実験風景(福山駅箕島線)】

○歩道整備事業

主な整備内容：歩道の拡幅や段差の解消を行いました。

- ・東福山地区（手城三吉線・手城蔵王線・停車場裏古地線）
- ・福山駅周辺地区（草戸松浜線・御船三吉 1 号線）

○自転車走行空間整備事業

- ・社会実験の実施

実施期間：2011 年（平成 23 年）5 月 20 日～6 月 2 日

実施場所：福山駅箕島線（500m）

実施内容：青色カラーによる自転車走行レーン設置

交通実態調査（交通量，走行速度，交差点状況など）

アンケート調査（住民，利用者，バス・タクシードライバー）



社会実験実施区間  
【自転車走行空間整備事業】

2 成果と年度別事業費

○社会実験のアンケートの結果，約 6 割の利用者から安全性が向上したとの回答が得られるなど，自転車走行レーンの有効性が認められ，2012 年度（平成 24 年度）の整備へとつながりました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	90,070 (※79,240)	225,756	270,699

事業費は，「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注)ただし，2009 年度(平成 21 年度)決算額中の「90,070 千円」には繰越分は含まれません。(※79,240 千円)は前年度繰越分で，重点政策に計上していない年度のため，( )で表示しています。



施策（事業）名	交通施設バリアフリー設備整備費補助等事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2005年度(平成17年度)～平成20年代半ば	決算額 25,521千円

1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと

高齢者を始め、全ての鉄道利用者がより円滑に駅を利用することができるよう、道路から駅の自由通路を結ぶエレベーターを設置するための実施設計を行いました。



【松永駅(南側)】

エレベーター設置予定箇所



【東福山駅(北側)】

2 年度別事業費

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	62,379	189,979	25,521

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>LED防犯灯整備事業(※再掲)</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2011年度(平成23年度)～2013年度(平成25年度)	決算額 174,928千円

**1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと**

地域の安心・安全や環境にやさしいまちづくりのため、市内全ての防犯灯を省エネで長寿命が特徴であるLED灯へ切り替えています。

- ・ 計画期間 2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度）
- ・ 2011年度（平成23年度） 約32,000灯中 10,141灯切り替え



【LED灯】

**2 成果と年度別事業費**

○LED灯への順次切り替えにより、発電の際に発生する温室効果ガス（二酸化炭素）を1年間で約82トン削減できました。

（単位：千円）

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	—	—	174,928

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

施策（事業）名	<b>深津市営住宅整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2008年度(平成20年度)～2015年度(平成27年度)	決算額 635,188千円

**1 2011年度（平成23年度）に取り組んだこと**

耐用年限を経過した老朽住宅などの建替えや外壁改修，福祉部門と連携したシルバーハウジング（高齢者世話付住宅）の整備など，安心して安全に暮らせる快適な住環境の整備に取り組んでいます。

深津市営住宅1号棟建設工事の実施

- （ 2010年（平成22年）12月17日～2012年（平成24年）5月31日
  - ・ 鉄筋コンクリート構造 7階建 89戸（うちシルバーハウジング30戸）
  - ・ 高齢者生活相談所

【型別の戸数】 (単位：戸)

1DK	2DK	3DK	計
28 (20)	35 (10)	26	89 (30)

( ) はシルバーハウジングの戸数で内数



【深津市営住宅1号棟】

**2 成果と年度別事業費**

○1号棟については，2012年（平成24年）6月から供用開始

(単位：千円)

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	(40,478)	246,705	635,188

事業費は，「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計



施策（事業）名	<b>児童虐待防止事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006 年度(平成 18 年度)～	決算額 7,920 千円

1 2011 年度（平成 23 年度）に取り組んだこと

○福山市児童虐待防止等ネットワークによる支援

各分野の専門機関・団体によるネットワークを組織し、情報の共有、目標の設定、役割分担をすることで問題の解決に取り組みました。

○広報・啓発活動の実施

市民一人ひとりに児童虐待について関心と理解を深めてもらうため、講演会（350 人参加）や街頭啓発、リーフレットの配布（245,500 部）などを行いました。

○児童虐待の未然防止・早期発見

保健師や地域ボランティアなどが子育て家庭を訪問し、子育て支援情報の提供や育児に関する指導・助言などの支援を行いました。

・こんにちは赤ちゃん訪問事業

訪問数 4,000 件 訪問率 87.8%

・育児支援家庭訪問事業（継続的な育児支援）

訪問実件数 44 件 延件数 113 件

○児童虐待の早期対応

新たに児童虐待防止支援員を 2 人配置し、相談・通告と児童の安否確認への対応を強化しました。



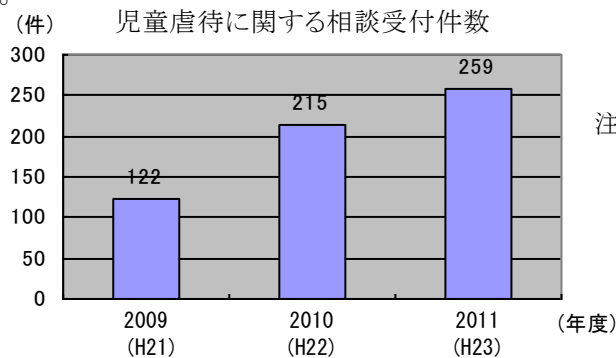
【児童虐待防止の市民啓発「オレンジリボン装飾」】  
(福山市役所本庁舎)



【こんにちは赤ちゃん訪問事業】

2 成果と年度別事業費

○児童虐待への市民の認識が高まるとともに、相談受付件数も増加しており、未然防止や早期発見につながっています。



注) 相談受付件数は、「虐待」と認められなかった件数も含む。  
件数の増加が直接、虐待の増加を意味するものではない。

	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)
事業費	643	2,463	7,920

事業費は、「前年度からの繰越額」と「当年度決算額」の合計

注) 2010 年度(平成 22 年度)は、「人として大切にされる社会の実現」の事業費を計上